

紀伊半島の森里海生態系の再生

日時：2019年1月12日（土）13:00~17:30（12:20 開場）

場所：三重大学 環境・情報科学館3階（三重県津市栗真町屋町1577）

参加費：無料（申込不要）

プログラム：

開会挨拶：和田 恵次（紀伊半島研究会会長）

13:10~13:15 趣旨説明：松尾 奈緒子（三重大学）

13:20~14:00「紀伊半島のユニークな気候」立花 義裕（三重大学）

14:00~14:40「海跡湖須賀利大池の森林生態系の再生」平山 大輔（三重大学）

14:40~14:50 休憩

14:50~15:30「回遊性魚類からみる森里海の連環」佐藤 拓哉（神戸大学）

15:30~16:10「有田川での森里海と人のつながりの再生の試み」徳地 直子（京都大学）

16:10~16:20 休憩

16:20~17:00「干潟生態系の健康診断と再生」木村 妙子（三重大学）

17:00~17:20 総合討論

閉会挨拶：保 智己（奈良女子大学共生科学研究センター長）



国指定天然記念物
須賀利大池（平山大輔氏提供）

共催：奈良女子大学共生科学研究センター
紀伊半島研究会
三重大学生物資源学研究科

問い合わせ：紀伊半島研究会
<http://kii-peninsula.sakura.ne.jp/top/>
松尾奈緒子（三重大学）
naoko@bio.mie-u.ac.jp

シンポジウムのねらい：

- わたしたちが暮らす紀伊半島にはユニークな生態系があります。
- シンポジウム第1部では、紀伊半島のユニークな生態系を形づくる大切な要因のひとつであるユニークな気候について概観した後、三重県尾鷲市にある国指定天然記念物の海跡湖・須賀利大池を囲む森林の現状と再生の試みについて話を聞きます。
- 第2部では和歌山県有田市における「在来の回遊魚が森里海をどうつないでいるのか」、「それを利用して森里海のつながりを再生できるか」という取り組みについて話を聞きます。
- 第3部では森里海連環の最下流域である干潟生態系の現状と再生の試みについて話を聞きます。その後、全員で紀伊半島の森里海生態系のつながりと、それを再生するための人のつながりについて意見交換したいと思います。

会場へのアクセス：<http://www.mie-u.ac.jp/traffic/index.html>

三重大学環境・情報科学館3階

1. 近鉄/JR津駅から三交バス

津駅前バス乗り場「4番」からバス（06, 40, 51, 52, 56, 53系統）に乗って「三重大学前」下車 *バス停「大学病院」、「大学病院前」ではなく、「三重大学前」で下車し、正門からお越してください。

2. 近鉄/JR津駅からタクシーで約10分

3. 近鉄江戸橋駅から徒歩で15～20分

三重大学キャンパスマップ：



環境・情報科学館3階